

幼児教育学科

科目名: 特別の支援を必要とする子どもの理解 I				担当教員 氏名: 青山 仁		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	後期	専門科目	演習	選択	保育士資格指定科目(必修) 幼稚園教諭二種免許状科目(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 保育エピソードや映像等により、具体的な子どもの事例に基づき授業を行う。						
授業科目の学習教育目標の概要: 特別の支援を必要とする幼児が、参加感や達成感を持ちながら生活し、生きる力の基礎を身につけていくことができるよう、幼児の学びや生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の保育者や関係機関、保護者と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識・支援方法を理解する。						キーワード 障害 発達 支援 インクルーシブ保育
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 7. 9. 10	
A 知識・理解力			障害を正しく理解し、障害のある子の実態のとらえ方、支援の方法について理解することができる。			
B 専門的技術			障害の特徴を捉え、それらに必要な支援の方法や技能を習得する。			
D 問題解決力			演習を通して、障害のある子に対する支援の仕方や教材等を工夫して作ったり考えたりする。			
F チームワーク・リーダーシップ			演習を通して障害のある子どもへの支援方法を、話し合ったり協力し合ったり考える。			
G 倫理観			障害のある子どもの理解を通して人間観を深め、保育者としての倫理観を身につける。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %		レポート: 40 %		発表: %		実技試験: %
その他: 10 %						
特記事項: 授業に対する前向きな姿勢、授業の内容に対する興味、関心の向き方も評価する。						
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 適宜課題レポートを実施する。最終試験は、別に定めた日時に実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポートについては、コメントし返却する。						
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)	
					学習内容	
					学習に必要な時間(分)	
①障害児保育とは①- 障害児保育の制度とインクルーシブ保育					【復習】DVDの感想をまとめておく 60分	
②障害児保育とは②- 特別支援を必要とする幼児の障害種別と特徴					【復習】障害の特徴をまとめておく 30分	
③支援を必要とする幼児の発達のつまづきと支援①(自閉症、ADHD LD)					【復習】障害の特徴をまとめておく 30分	
④支援を必要とする幼児の発達のつまづきと支援②(知的障害、聴覚・視覚障害)					【復習】障害の特徴をまとめておく 30分	
⑤発達の支援方法の理解と対応①(行動への支援)					【復習】 30分	
⑥発達の支援方法の理解と対応②(環境調整による支援)					【復習】 30分	
⑦個別の支援計画と教育支援計画作成の意義と方法					【復習】 30分	
⑧「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置づけ					【復習】 30分	
⑨支援のための教材の工夫と制作①					【予習】障害に応じた作成教材を考えておく 60分	
⑩支援のための教材の工夫と作成②					【予習】障害に応じた作成教材を考えておく 60分	
⑪支援を必要とする幼児のケースカンファレンスと評価					【復習】 30分	
⑫障害はないが、特別な教育的ニーズのある幼児に対する支援					【復習】 30分	
⑬支援を必要とする幼児の家庭支援					【予習】保護者の悩みはどんなものがあるか調べておく 60分	
⑭特別支援コーディネーターの役割と関係機関との連携					【復習】 30分	
⑮まとめ					【復習】 60分	
使用テキスト: 尾崎康子他著『よくわかる障害児保育』(ミネルバ書房) ISBN-13: 978-4623081240					その他参考文献など: 実践事例に基づく障害児保育(保育出版社)	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 障害を持った子どもの保育は、すべての子ども達の保育を行う上でもとても大切である。障害児保育を学ぶ中で、子ども観、発達観、人間観など、保育者に必要な資質をしっかりと身につけてもらいたい。						